

# 自然の家ジュニアクラブ

## 1. 事業の概要

### ○ 事業の趣旨

自然体験活動や集団宿泊体験を通して、子どもたちの自主性、協調性、社会性を育むことを目的とする。

### ○ 実施期間

第1回 平成30年6月16日(土)～17日(日)

第2回 平成30年6月23日(土)～24日(日)

第3回 平成30年7月21日(土)～22日(日)

### ○ 対象者・参加者数(人数/定員)

対象者 小学3、4年生の児童

参加者数 第1回 23名/25名 第2回 53名/50名 第3回 51名/50名

### ○ 活動プログラム

1日目(土曜日)		2日目(日曜日)	
13:00	はりまや橋バスターミナル 発	7:15	朝のつどい
15:30	室戸青少年自然の家 着	7:30	朝食
16:00	自然の家クラフト(貝がらアート)	9:00	室戸青少年自然の家 発
17:30	タベのつどい	9:30	ドルフィンセンター 着
17:45	夕食		センター見学
19:00	レクリエーション	10:30	室戸市 発
20:00	入浴・就寝	13:00	はりまや橋バスターミナル 着

## 2. 活動の様子

### <1日目>

小学3、4年生の児童を対象に参加者を募集し、全3回の開催で計127名が参加した。自然の家までのバスの中では、ボランティアリーダーの大学生たちとレクリエーションを楽しんだ。友だち同士での参加者が多いこともあり、車内はすぐに盛り上がりを見せていた。自然の家到着後は、貝がらなどを使用したアート作成を行った。様々な種類の貝がらや形の違う流木・サンゴを手に、参加者たちは創造力を働かせ、材料を組み合わせ思い思いの作品作りを楽しんでいた。夕食後は再びリーダーたちとレクリエーションを行った。バスとは違い広いホールを使用して行われたゲームでは、参加者たちは所狭しと動き回り、笑顔が溢れる時間となった。入浴後は宿泊室で、新しくできた友だちと会話を楽しみつつ、就寝した。



### <2日目>

2日目は室戸ドルフィンセンターにて、イルカとのふれあい体験を行った。ドルフィンセンターでは、多くの参加者が初めて間近で見たであろうイルカの姿に感動しているようだった。センターのスタッフの許可のもとでイルカに触れたり、大きくジャンプするイルカの水しぶきを全身に浴びたりした際には、参加者たちからは大きな歓声が上がっていた。イルカの他にも室戸の海に生息しているウミガメやサメなど様々な生き物を見ることができ、海への関心を深めたようだった。帰りのバスの中では、名残を惜しむように友だちやリーダーとの会話やゲームを楽しむ姿が見られ、参加者たちの間に友情や信頼が芽生えているのを確認することができた。



### 3. 事業の成果と課題

#### ○ 参加者の感想

- ・2日間、とても楽しかったです。ありがとうございました。
- ・夜、せきが出たときに心配してくれたし、わからないことがあったら優しく教えてくれてありがとう。
- ・今度は弟も来たいと言っていたので、3年生になったらお世話になります。
- ・大変だったと思うけど、あきらめずしてくれてありがとう。またリーダーに会えたらいいな！

#### ○ 事業の成果

- ・参加者の名札の裏に活動の予定が書かれていたので、子どもたちは自分で時間を確認し行動することができるようになっていった。
- ・最初同じ小学校以外の子とは仲良くなれないと言ったり、ネガティブな発言が多かった子が最後にはみんなと仲良くなっていたり、2泊3日がよかったなあと言っていたり、笑顔と明るい発言が増えた。

#### ○ 事業の課題

- ・第2回の際、迎えのバス内にて体調を崩し、活動に参加できないまま夜間に帰宅した子がいた。職員やリーダーがつきっきりで対応することになったので、体調不良の子どもへの対応方法を事前にしっかりと決めておく必要がある。
- ・子どもたちのお手本になれていなかった場面があった（イスをしまえていなかった、など）。子どもたちの目を常に意識して行動することを心がける必要がある。